

一般高圧ガス及び液化石油ガス（家庭用LPガスを除く）事故発生件数の推移（H30年度～R4年度）

平成30年度から令和4年度にかけての事故発生件数と死傷者数の推移を、図1と図2に示した。

この5年間においては、事故件数は令和元年度に減少したが、その後、増加傾向にある。

盗難件数については、容器盗難、喪失を指し、高圧ガス保安法による事故扱いとなるが、平成30年度から液化石油ガス事故対応要領の改正により、液化石油ガス法に係る盗難等を高圧ガス法の事故に計上しなくなった。

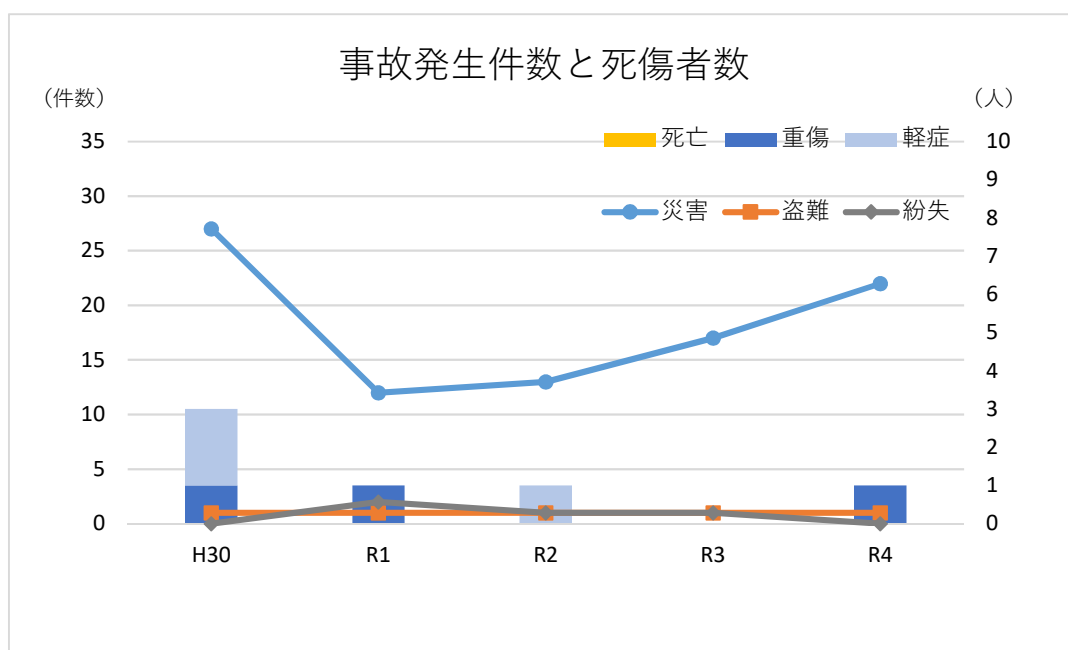


図1 事故発生件数と死傷者数の推移（平成30年度～令和4年度）

表1 事故発生件数と死傷者数の推移（平成30年度～令和4年度）

年度		H30	R1	R2	R3	R4
事故発生件数	災害	27	12	13	17	22
	盗難	1	1	1	1	1
	紛失	0	2	1	1	0
死傷者数	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	1	1	0	0	1
	軽症	2	0	1	0	0

災害事故件数の現象別の内訳を、図2と表2に示した。

どの年度においても、事故件数のほとんどが噴出・漏えい事故であった。

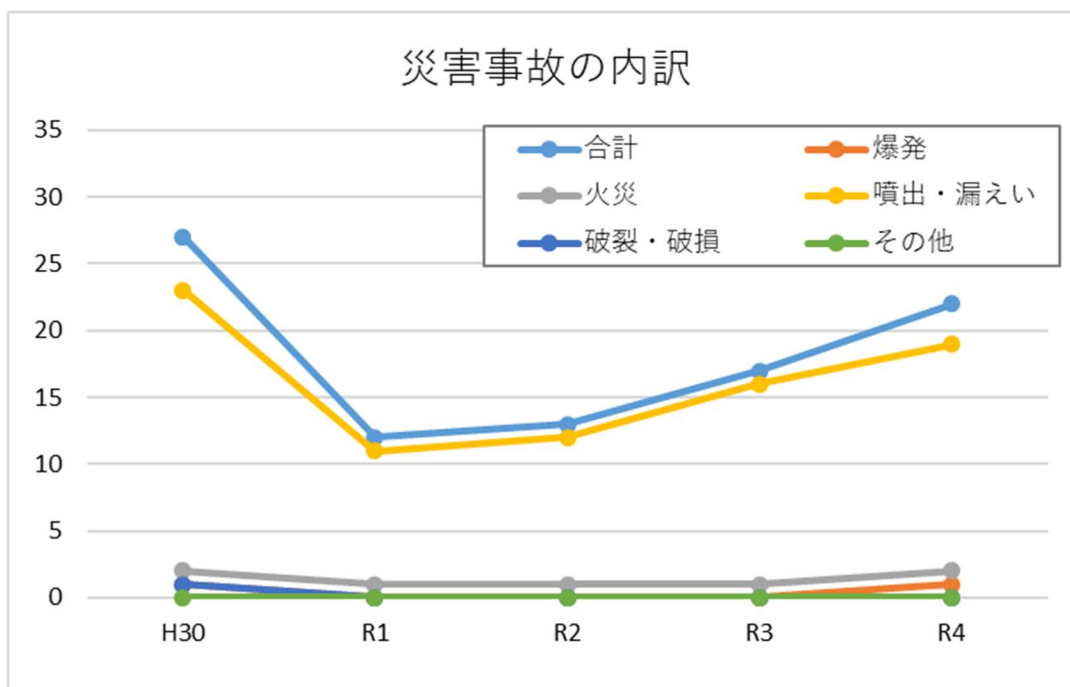


図2 災害事故の内訳（現象別：平成30年度～令和4年度）

表2 災害事故の内訳（現象別：平成30年度～令和4年度）

年 度		H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
災害	合計	27	12	13	17	22
内訳	爆発	1	0	0	0	1
	火災	2	1	1	1	2
	噴出・漏えい	23	11	12	16	19
	破裂・破損	1	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0

災害事故件数の規則別の内訳を、図3と表3に示した。

どの年度においても、冷凍則の事故（冷凍施設からの冷媒漏れ事故）が最も多い。

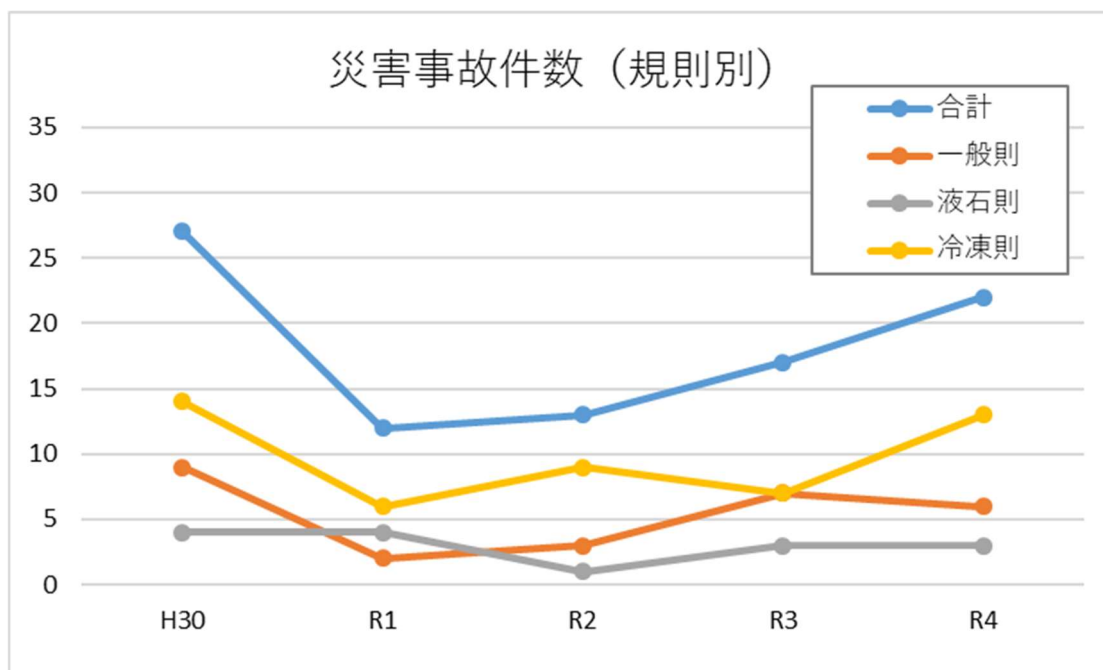


図3 災害事故の内訳（規則別：平成30年度～令和4年度）

表3 災害事故の内訳（規則別：平成30年度～令和4年度）

年 度		H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
災害	合計	27	12	13	17	22
内訳	一般則	9	2	3	7	6
	液石則	4	4	1	3	3
	冷凍則	14	6	9	7	13